

V 業務情報化の推進

平成17年度は、幕張移転以来稼働してきたLANシステムを平成16年度に策定した次期LANシステムの基本構想に従い構築するとともに、個人情報保護の観点から個人情報保護システムを導入した。

1. 新LANシステムの導入と安定稼働

平成11年末の幕張移転以来使用してきたLANは、当時評価の高かったATM・LANであった。その後の技術進歩に伴いイーサネットでもギガビット単位の高速化が図られてきた。他方、ATM・LANは機器のメンテナンスなど維持が困難になってきていたこともあり、新LANシステムの構築が待たれていた。このため、平成16年度の基本構想に基づき、年度当初から業者と協議を重ね、高速のギガビット・イーサネットLANを構築した。

新LANシステムの導入に併せて、所内で研究会外部委員や研究所訪問者が所内LANシステムに接続することなく外部インターネットに接続できるように無線LANを導入し、研究所訪問者への利便性を向上させた。

2. システムのセキュリティ強化

個人情報保護の観点から、個人情報保護システムを導入し、所内文書担当者、個人情報を取り扱う部門・部署の利用を開始した。

また、引き続き業務用のPCの利用に当たっては、システム利用申請によることとし、不正なソフトの導入等による情報の漏洩を防止する手段を講じた。

3. 一部機器貸し出しをワークフローからリソース予約へ変更

一部のPC機器等の貸し出しについて、煩雑な部分があったためシステム利用申請から、会議室予約などと同様なリソースの予約に変更することにより、貸し出し手続きの簡素化を図った。

4. 研究所各種業務システムのサポート

アジア経済研究所ホームページの改訂，研究所イントラネットの研究企画部ページの作成，開発研究センターが所管する各種統計処理システム，図書館システム保守及び新図書館システム構築，アジ研ワールドトレンド掲載の各国統計処理などについて，技術的な協力を行ったほかノーツのバージョンアップを行い，研究所各種業務の情報化を推進した。